

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第27回

福岡県代協

「代理店ベンチマーク研修」の取り組み

福岡県代協は、「損害保険の健全かつ公正な募集と消費者の利益を守るために、常に資質向上を図り、併せて地域社会に貢献すること」を目的に活動をしている。

現在の会員数は5800人で、県下七支部の何れかに所属し、活発な支部活動が行われている。これらの活動も新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、従来のリアル面談活動から、Web環境を整え、オンライン面談へと活動は変わった。

Web中心の活動により、会員間のコミュニケーションは低下するが、場所や移動時間を選ばないWebによる研修活動は有効と思う。このよう

なことから、福岡県代協では、消費者の視点で物事を考え行動していくために、会員に対し、自己啓発・自己研鑽の一助として各種研修セミナーをWebで実施している。

主なセミナーの演題は、「代理店の賠償責任と最近の事故事例」「金融庁検査の着眼点」「ウイズ・アフターコロナの代理店経営」「BCP策定支援」「代理店として行っているコロナ感染防止策」「コロナ禍における代理店経営と新局面」



代理店見学会の様子



教育委員長 七条智明氏

詳細は、福岡県代協HP活動報告から確認できます。

「体制整備」などをテーマにご講演をいただき、ご参加いただいた皆様に一定の評価をいただいた。

独自取り組みとして当協会、教育委員会を中心に「代理店ベンチマーク研修」を実施し、先進的な保険代理店の取り組みを学び、品質向上や自己研鑽を図ることを目的として活動した。

本年9月で第四回が終了したが、第一回は福岡東支部所属の㈱三友アンブレラ、第二回は久留米支部所属の久留米中央保険サービス㈱、第三回は北九州西支部所属の㈱三愛を代理店見学した。

代理店への見学は、事前に参加者に告知をして参加者を集め、教育委員と一緒に訪問をして、取組み事例や写真、感想などを参加者でレポートにまとめ、会員に発信した。

第四回はコロナ禍により、大勢での訪問がな

わなかったため、教育委員長と委員で取材に行き、その内容を独自でビデオ編集し、Zoomにて動画を配信し会員と共有するセミナーを開催した。

参加者からは高評価で紙ベースのレポートよりも、「臨場感があり、手に取るように状況が把握できた」とのアンケート結果が多数寄せられた。

その取材先は福岡東支部所属の㈱グッド・サポートでテーマは「RPAを駆使して近未来バックオフィスを構築する(人間が行っている定型業務・ルーティンワークをロボットが自動で行ってくれる)取材をした。

福岡県代協は、今後もこのような活動を止めることなく、仲間を増やし、消費者利益を守るために、資質向上を図り、業界発展のために邁進します。